

授業科目                      **カウンセリング技法(新カリ、社会・健康以外)**

【担当教員名】 伊東 正裕	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・スポ
	開講時期	後期	必修・選択	選択・選択・選択・選択
	単位数	1	時間数	15

【一般目標：G10】

対象者の心理的な相談に適切に応ずるために、一般的なカウンセリングについて理解し、カウンセラーの基本的態度や基本的技法を習得する。

【行動目標】

1. 心の相談のための面接法(カウンセリング)の意義を述べることができる。
2. カウンセラーの基本的態度と倫理について説明できる。
3. カウンセリングの構成要素とプロセスについて説明できる。
4. カウンセリングの基本的技法について説明し、実際に試みることができる。
5. 専門家(の卵)として、実際に心の相談を受ける準備ができる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO		
		番号	学習方法・学習課題又は備考	担当教員
1	カウンセリングとは何か カウンセリング学習の意味・目的 心の相談と専門家の役割、など	1	講義	伊東正裕
2	カウンセリングの構成要素 聴くこと・見ること 対等な出会い・専門的關係 カウンセラーの倫理、など	2, 3.	講義・実習	同上
3	カウンセラーの基本的態度 共感的理解 傾聴、など	2	同上	同上
4	カウンセリングの基本的技法(1) 信頼関係を築く	4	同上	同上
5	カウンセリングの基本的技法(2) 問題の核心をつかむ 問いを立てる	4	同上	同上
6	カウンセリングの基本的技法(3) 適切な処置と面接の展開	4	講義	同上
7	カウンセリングの実際 ロジャーズから学ぶこと	5	講義・ビデオ	同上

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>	
教科書	面接法	熊倉伸宏	新興医学出版社	2002	1500円
参考書	授業中に紹介する。				
その他の資料	適宜、プリントを配布する。				

【評価方法】	【履修上の留意点】
出席状況 レポート	授業中の実習(紙上エクササイズ)には、積極的に取り組むこと。